

1 学校名

気仙沼市立唐桑幼稚園

2 活動名

「からくわたんけんにでかけよう！～素敵に海に親しみ、あそぼう～」

3 実践の概要

(1) 園・幼児の実態

唐桑幼稚園がある気仙沼市唐桑町は山や海に囲まれた自然豊かな地域であり、地域全体で子どもを見守る雰囲気がある。園児は35名で、明るく元気に友達と誘い合って遊びを楽しむ姿が見られる。これまで、海での散歩や漁協見学、魚の駅見学などを行い、自分たちの住む地域の自然や産業、そこで暮らす人々に対する親しみの気持ちを育んできたことで、「唐桑の海ってすごい」という発言が聞かれたり、地域への憧れの気持ちを持ち、なりきって遊んだりする姿が見られるようになった。このような幼児の中に芽生えた「自分たちの住む地域を誇りに思う気持ち」を大切に受け止め、今年度は、幼児の生活の場である「唐桑」での体験活動を充実させ、驚きや憧れ、感謝の気持ちなどを友達と共有したり、遊びに生かしたりすることを通して、地域の海の素晴らしさや楽しさに気付かせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成していきたいと考えた。

(2) ねらい

身近にある唐桑の海での体験を重ね、遊びに生かすことで、素晴らしさや楽しさに気付かせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成する。めざす幼児像を、以下の二点とした。

- ・海での遊びを楽しみ、進んで関わろうとする幼児
- ・身近な海での体験を遊びの中に生かそうとする幼児


(3) 指導に当たって

唐桑の海の素晴らしさや遊びに生かす楽しさを感じながら、今後もこの環境を大切にしていこうとする幼児の育成に迫るために、以下の二点を視点として、海洋教育に取り組んできた。

- ①身近な海や海と関わる人とふれあうことができる体験活動の設定
- ②体験活動を生かしたごっこ遊びの設定

4 実践計画

日時	活動名	ねらい	内容
5月	馬場の浜散策 (年中児・年長児)	・自然物に興味をもったり、海で遊ぶことを楽しんだりする。 ・海の自然物を使った遊びを楽しむ。	・馬場の浜での自然物集め ・馬場の浜で見つけた自然物を見せ合う活動 ・海の宝物(貝殻)を使った制作活動 (年中児・年長児親子)
6月	・唐桑漁協加工・出荷センター見学 (全園児) ・唐桑漁協販売会参加	・海の生き物の観察やふれあいを通して、唐桑の海への興味や関心を高める。	・働く人との交流(海の達人に海の仕事を教えてもらおう) ・漁協の仕事体験(年長児) ・海の生き物とふれあい活動 ・漁船の乗船体験(年中児・年長児)

	(年中児・年長児)	<ul style="list-style-type: none"> 唐桑漁協で働く人や地域の人とのふれあいを通して、親しみの気持ちや憧れの気持ちをもつ。 海産物を食べる活動を通して、感謝の気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 海に関わるごっこ遊び（発達段階に合わせたごっこ遊びの展開） 唐桑漁協の販売会に参加（「うみのたからものキーホルダー」をプレゼントしよう）（年中児・年長児）
8月	海をテーマとした行事「うみのたからものなつまつり」（全園児）	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験を思い出しながら、友達や教師と一緒に考えたり準備したりすることを楽しむ。 保護者と一緒に海産物を味わい、地域の良さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 海をテーマとしたお店屋さんごっこ お店屋さんごっこに関わる話し合い活動や制作活動（年中児・年長児） 唐桑地区の海産物を使ったバーベキュー（イカ焼き、赤皿貝の串焼き、ワカメ汁） バーベキューごっこ
10月	舞根探検（全園児）	<ul style="list-style-type: none"> 波の感触を楽しんだり、生き物の発見を喜んだりする。（年少） 友達と一緒に生き物探しを楽しんだり、いかだの様子に興味をもったりする。（年中） いかだの様子に興味をもち、その仕組みを知ろうとする。（年長） 疑問に思ったことは質問をするなど、進んで働く人に関わろうとする。（年長） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人や働く人との交流活動 海の生き物とのふれあい活動 発達段階に合わせた体験活動 年少児：干潟遊び、生き物探し 年中児：メバル釣り 年長児：乗船体験、いかだ見学 
11月	唐桑の海での体験を生かしたごっこ遊び「からよう湾で遊ぼう」	<ul style="list-style-type: none"> これまで経験したことを思い出し、遊びに取り入れながら遊ぶ。 唐桑の海で働く人になりきって遊ぶことを通して、地域の良さにふれ、感謝の気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 唐桑の海での体験に基づき、生産→流通→消費の流れのあるごっこ遊びの展開 からよう湾ごっこに関わる話し合い活動や制作活動 全園児でのごっこ遊び

5 今年度の実践

実践例1

①「馬場の浜に遊びに行こう！」 ※対象：年中児・年長児

園舎のすぐ近くにある馬場の浜に遊びに行く。昨年までの経験から、年中児と年長児は進んで浜園に戻り、拾い集めた貝殻をクラスの友達と見せ合う中で、「僕が見つけた宝物だよ」「素敵だね」というやり取りが見られた。

↓

②「うみのたからものキーホルダーをつくろう」 ※対象：年中児・年長児親子

海で見つけた自然物を「たからもの」として紹介する幼児の姿から、それらを利用した遊びや活動へと展開させる。保育参観日の中で、海で見つけた貝殻やシーグラスを保護者に紹介する場面を設定したり、親子での製作活動を取り入れたりした。

【考察】

- 海で拾い集めた貝殻やシーグラスを「たからもの」として友達や保護者に紹介したり、制作に取り入れたりすることを通して身近な自然物を大切に使う気持ちにつながってきていると感じる。

実践例 2

①「唐桑漁協加工・出荷センターに行ってみよう！」 ※対象：全園児

馬場の浜散策で海や生き物への興味・関心を高めている姿から、唐桑漁協見学を行う。いけすの中にいるホタテやホシカレイなどの生き物とふれあいを楽しんだり、漁協の職員の方から海の仕事について教えてもらったりした。安心して体験活動に取り組めるよう配慮したことで、海の生き物を真似して体を動かしたり、漁協の職員の方を「海の達人」と呼び、疑問に思ったことを質問したりする姿が見られた。また、年中児や年長児は実際に漁船に乗せてもらい、船内を見学した。昼食時には、漁協の職員の方と一緒に唐桑で獲れたわかめのスープを食べた。見学したことを思い出せるような声掛けを行ったことで、「おいしいな」「幸せだね」と話しながら味わう姿が見られた。

↓

①「うみのたからもの販売会をしよう！」 ※対象：年中児・年長児

幼児がさらに地域とつながれるよう唐桑漁協の販売会に参加する。販売会では年中児・年長児が作った「うみのたからものキーホルダー」をお客さんにプレゼントした。最初は緊張している様子だったが、お客さんから「ありがとう」と言われたことに喜びを感じ、少しずつ大きな声で話したり、自分から「いらっしやいませ」と話したりする姿が見られた。

↓

②「からくわのうみのいいところを見つけて遊ぼう！」 ※対象：全園児

地域や海での体験を生かしたごっこ遊びを展開していく。学年毎に興味・関心に沿って遊びを進めていった。年少児は海の生き物の動きをイメージした表現遊び、年中児は海の生き物や海の中をイメージして制作し、それらを使った遊びを展開した。年長児は海の達人の仕事をまねたごっこ遊びを友達と相談しながら作り上げていった。

【考察】

- ・地域の海での体験活動を充実させたことで、地域や海に対する興味・関心が高まった。また、幼児が地域で行っている取組に参加することで、地域の人とのつながりが生まれ、親しみをもって関わることができるようになり、地域の一員であることを感じるようになった。
- ・馬場の浜散策、漁協見学、漁協販売会への参加の一連の体験活動を生かした遊びは、各クラスの発達段階や興味・関心に応じて展開することで、遊びがより深まった。

実践例 3

①「うみのたからものなつまつりをしよう！」 ※対象：全園児

漁協の販売会に参加した経験から、年長児と年中児が夏祭りの中で「うちわやさん」「たこやきやさん」などのお店屋さんを開いた。また、保護者に協力をいただきながら、イカや赤皿貝やワカメを調理して「うみのたからものバーベキュー」を行った。「お家の人が焼いてくれたよ」と声掛けをしたところ、「パパが焼いてくれた赤皿貝がおいしいな」「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える場面も見られた。

↓

②「バーベキューごっこをしよう！」 ※対象：全園児

夏祭りの振り返りを行う中で、「イカと赤皿貝のバーベキューおいしかった」「また食べたい」などの感想が多く、その時の経験が全園児でのごっこ遊びへと発展していった。年中児と年長児が縦割りグループを作りながらバーベキューコーナーの準備をし、年少児は拾い集めた貝殻をお金に見立てて買い物ごっこを楽しんだ。遊びの中では年下の友達に優しく教えようとしたり、年長児の姿に憧れて真似して遊んだりする姿が見られた。

【考察】

- ・保護者と一緒に地域の海産物を味わったことは幼児にとって心に色濃く残るものとなった。
- ・異年齢で遊びを進めていったことはそれぞれが友達との関わり方を考えるきっかけとなった。

実践例4

①「舞根探検に行こう！」 ※対象：全園児

発達年齢に合わせて海の生き物や海の仕事、地域の人との関わりがもてるような体験活動を行う。漁船に乗り、目の前でいかだやカキの巻き上げ作業を見学した年長児は、「船がグラグラするけど気持ちいいね」「唐桑の海、きれいだね」などと驚きや感動などの思いをつぶやいていた。海での直接体験で心を動かされた幼児達は、「どうやったらカニを捕まえられるの？」「どんな仕事をしているの？」と自ら地域の人に質問をする姿が見られた。

↓

②「からよう湾で遊ぼう！」 ※対象：全園児

一年間を通して積み重ねてきた、唐桑での体験活動を生かして「からよう湾で遊ぼう」を展開する。体験を基に、「漁協コーナー」「いかだ・たからまるコーナー」「バーベキューコーナー」「釣りコーナー」「干潟コーナー」に分かれ、遊びに必要なものは何かを友達と相談したり、工夫したりしながら遊びを進めた。ごっこ遊びの中では、「海の仕事は大変だなあ」「唐桑のカキはおいしいよ」と言いながら海で働く人になりきり、体験時に感じた憧れや感動などの気持ちを抱きながら遊ぶ姿が見られた。

【考察】

- ・一年間を通して「唐桑の海の自然物」「海の仕事」「海で働く人」を重視した体験活動や遊びを継続して行ってきたことは、幼児が唐桑の海やそこで働く人たちへの親しみや憧れの気持ちをもち続け、遊びに反映させながら取り組む姿につながった。

実践例5 ※追加

①「海の市に遠足に行こう！」 ※対象：全園児

一年間の海の活動のまとめとして海の市見学を行う。これまで唐桑で見てきた海の生き物がお店に並んでいるところを見て、「これは唐桑のホタテ？」「これはホシカレイかな？」と疑問をつぶやいたりお店の人に聞いたりする姿が見られた。昼食時は魚の煮物などを味わった。

園に戻ると、自然と図鑑を手に取り見てきた生き物を思い出したり、すし屋さんごっこを始めたりするなど、幼児自らが海での体験を遊びに取り入れようとする姿が見られた。

【考察】

- ・海や海に関わる仕事に対して興味・関心が深まっており、これまでの経験を踏まえて想像したり遊びに取り入れられたりする力が育ってきていると感じた。また、「もっと知りたい」という思いが、人の関わりにもつながってきている。

○実践の成果

- ・唐桑の海やそこで働く人と関わる活動は、海に進んで関わり、地域の人や自然に対する憧れや感謝の気持ちを育てた。それらを遊びに反映させ、海で働く人になりきることで、仕事をする人の思いにもふれることができた。

○次年度への課題

- ・海の活動では、地域の人と幼児をつなげるために事前の打ち合わせの段階でねらいや活動の展開についてしっかり伝えておくことや、安全に活動ができるよう様々な状況を想定することが大切であると感じた。

6 主な連携機関及び内容

- ・唐桑漁協加工・出荷センター：漁協見学，販売会参加，海で働く人との交流
- ・森里海研究所：メバル釣り体験，海の生き物とのふれあい
- ・水山養殖場：いかだ見学，干潟遊び
- ・海の市：魚屋見学，リアスシャークミュージアム見学

年少組 からくわたんけんにでかけよう！ ～素敵な海に親しみ、あそぼう～

[実践のねらい]

身近にある唐桑の海での体験を重ね、遊びに生かすことで、素晴らしさや楽しさに気付かせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

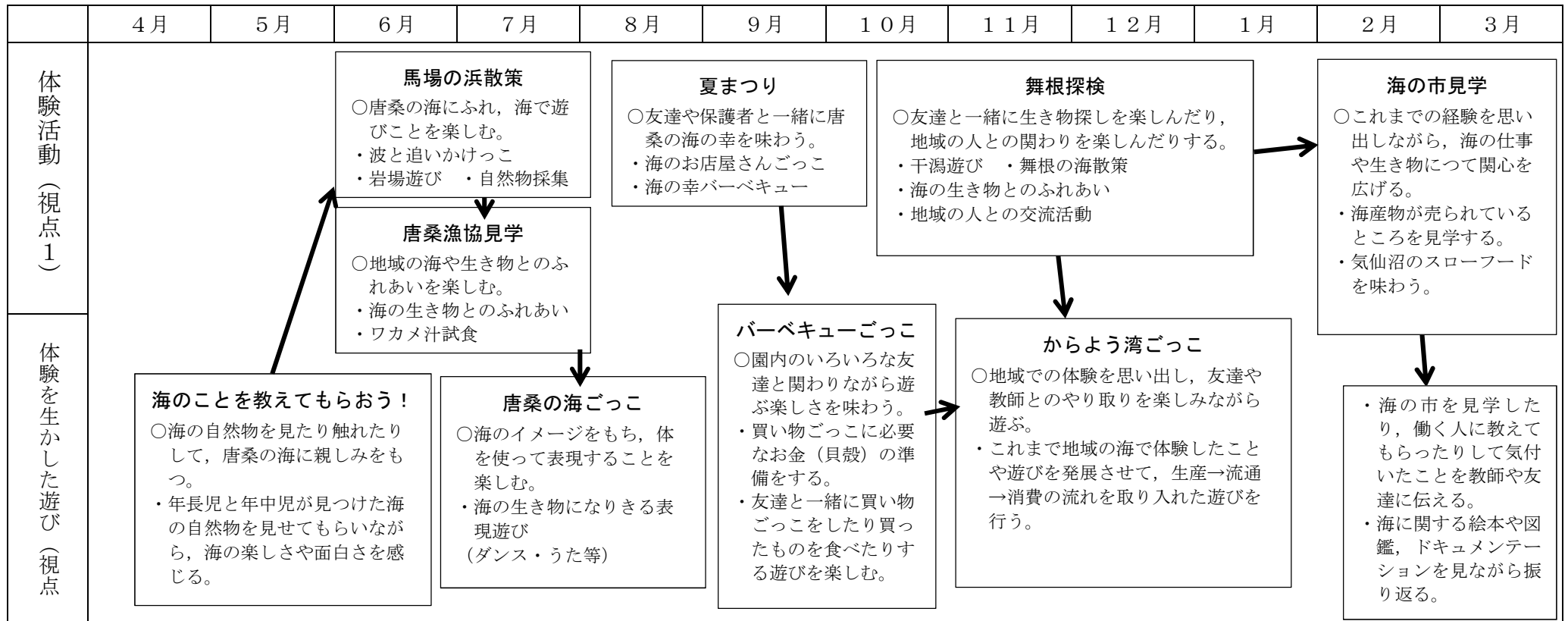
- ・海での遊びを楽しみ、進んで関わろうとする幼児
- ・身近な海での体験を遊びの中に生かそうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- ### ○視点
- (1) 身近な海や海と関わる人とふれあうことができる体験活動の設定
 - (2) 体験活動を生かしたごっこ遊びの設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・水山養殖場，海里森研究所：干潟遊び，メバル釣り体験
いかだ見学，地域の人との交流
- ・海の市
：海の市・リアスシャークミュージアム見学



年中組 からくわたんけんにでかけよう！ ～素敵な海に親しみ、あそぼう～

[実践のねらい]

身近にある唐桑の海での体験を重ね、遊びに生かすことで、素晴らしさや楽しさに気付かせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

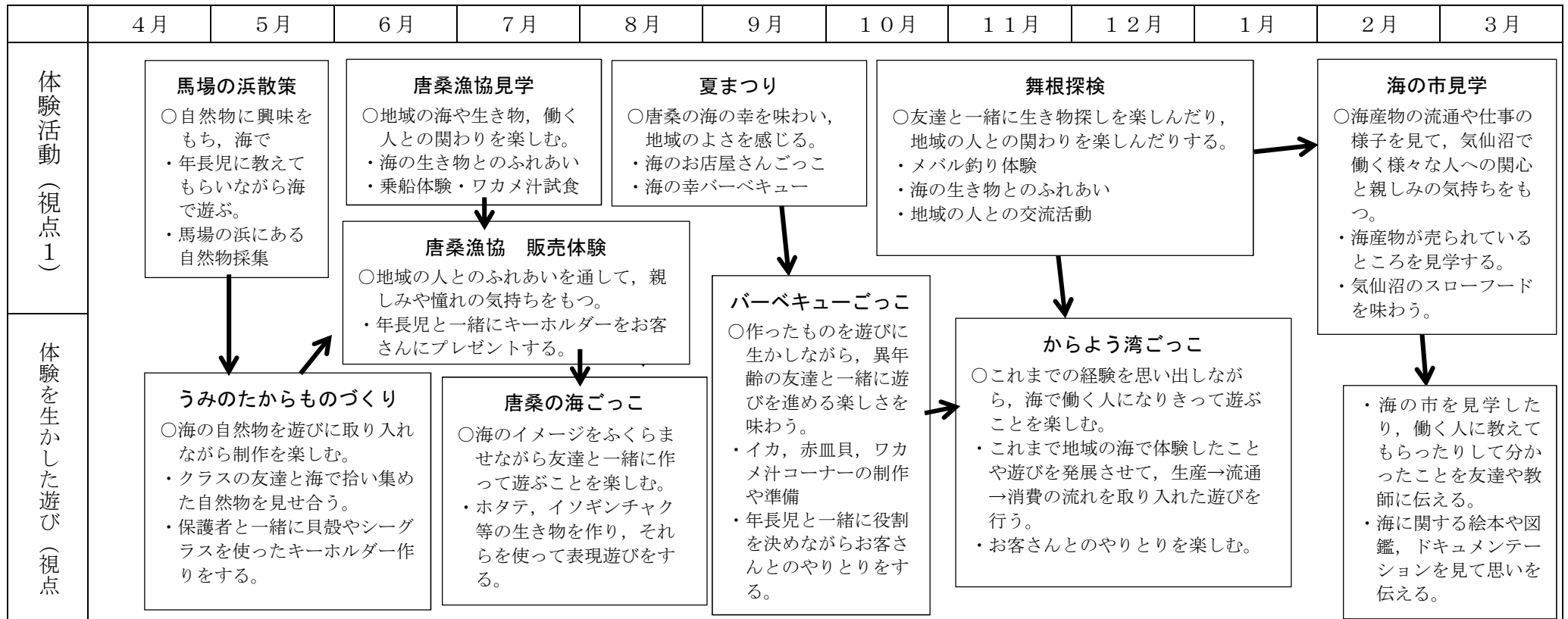
- ・海での遊びを楽しみ、進んで関わろうとする幼児
- ・身近な海での体験を遊びの中に生かそうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- ### ○視点
- (1) 身近な海や海と関わる人とふれあうことができる体験活動の設定
 - (2) 体験活動を生かしたごっこ遊びの設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・水山養殖場，海里森研究所：干潟遊び，メバル釣り体験
いかだ見学，地域の人との交流
- ・海の市
：海の市・リアスシャークミュージアム見学



年長組 からくわたんけんにでかけよう！ ～素敵な海に親しみ、あそぼう～

【実践のねらい】

身近にある唐桑の海での体験を重ね、遊びに生かすことで、素晴らしさや楽しさに気付かせ、将来もこの環境を大切にしていこうとする幼児を育成する。

○海洋教育を通してめざす幼児の姿

- ・海での遊びを楽しみ、進んで関わろうとする幼児
- ・身近な海での体験を遊びの中に生かそうとする幼児

○実施教科等：保育活動

- ### ○視点
- (1) 身近な海や海と関わる人とふれあうことができる体験活動の設定
 - (2) 体験活動を生かしたごっこ遊びの設定

【主な連携機関と内容】

- ・唐桑漁協加工出荷センター：漁協見学
海で働く人との交流
- ・水山養殖場，海里森研究所：干潟遊び，メバル釣り体験
いかだ見学，地域の人との交流
- ・気仙沼市立唐桑小学校：馬場の浜散策，交流活動
- ・海の市：海の市・リアスシャークミュージアム見学

